

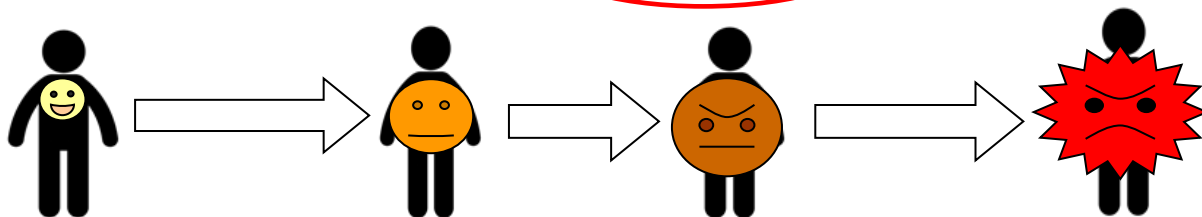
あなたかわたしか… 生涯で2人に1人はがんになる可能性があるのです

「あなたはがんです」残念ながら、2人に1人はいつかこの言葉を聞かなくてはなりません。(国立がん研究センターHPより)
ただし、そのあとに続く言葉が「早期発見だから大丈夫。治りますよ」となるか、それとも「余命は〇か月です」となるかは、あなたの選択次第。だから、**がん検診を受けましょう!**

昨年のがん検診で異常がなくても、今年のがん検診でがんが発見されるかもしれません

発生した1個のがん細胞は、約0.01mm。目には見えません。目立った症状がないまま増え続け、10年から20年くらいかけて、一般的に検診で発見できる1cm程度の大きさの塊になります。しかしその後、2cm程度の大きさになるのはわずか1~2年であり、それ以降は進行がんとなり、症状が現れてきます。

正常細胞 がん細胞に変化 がんが小さいため発見できない **がんが大きくなり検診で発見できる時期** 自覚症状の出現 最悪の場合がんにより死亡



自覚症状が出るまでに見つけた早期がんの約9割は治すことができます!

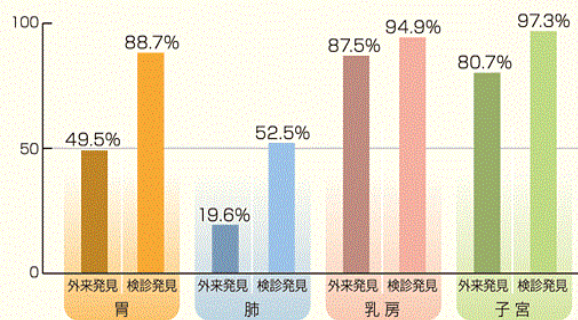
(出典: http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/_icsFiles/afeldfile/2017/07/13/1369992_1.pdf)

検診により早くがんが発見された場合は、症状が出てから受診してがんが発見された場合に比べて、3年相対生存率が高くなっています。

がんが発覚すると、本人の問題だけでなく、家族の生活まで一変してしまいます。「**早期発見**」できれば、「**早期治療**」ができ、本人の負担だけでなく、周りのかたの精神的・身体的・経済的負担も軽く済みます。**定期的のがん検診を受けることが非常に重要です。**

■3年相対生存率: がんと診断された場合に、治療でどのくらいの生命を救えるかを示す指標。

受診の動機別に見た3年相対生存率



(財)がん研究振興財団「やさしいがんの知識」

岡崎市のがん検診は、会場・日程を選べるうえに、予約は電話1本でOKです!

各種がん検診に関する詳細はこちら!!

